

【ご提案書】 生成 A I 現場定着化研修

～現場での生成 A I 活用を促進し作業効率を向上～

株式会社 ネクサライズコンサルティング
代表取締役 辻村裕寛

生成AIの可能性を理解し、社内に浸透させる土台をつくる。
生成AI導入を研修を通して具体的な業務課題に対してAIの有効性を検証。

生成AI&自社AI導入定着化 ロードマップ



01

STEP1：試行と啓蒙

生成AIの可能性を理解し、
社内に浸透させる土台をつくる
生成AI導入を研修を通して具
体的な業務課題に対してAIの有
効性を検証

02

STEP 2：業務へのAI導入

研修期間で導入を決定した業務
に対して生成AIツール活用を
開始します。現場で複数箇
所で生成系AIツールを用いた
効率化の効果が創出できて
います。

03

STEP 3：社内AIモデル開発

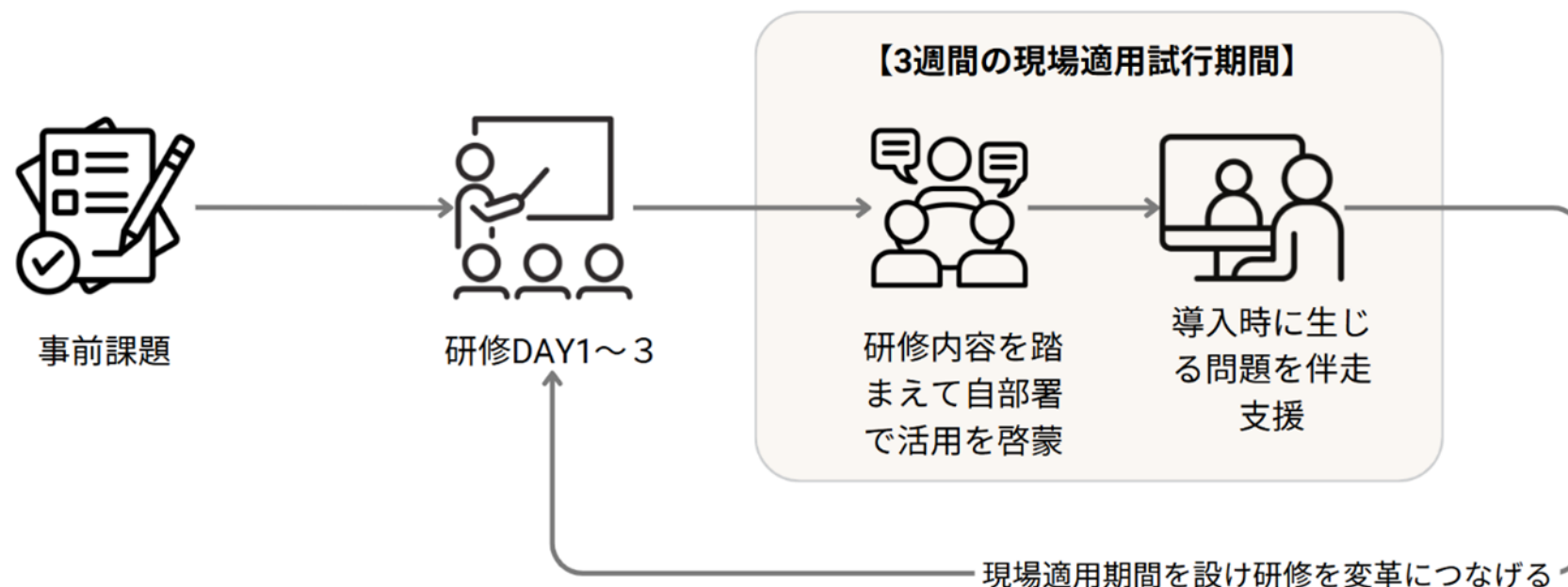
生成系AIツールでは対応でき
ない社内業務に対し、独自
AIツールの開発を検討し、
具体的なツールイメージを
設定します。MVP構築の
PoCを通じて、約2カ月で
実装に取り組みます。

04

STEP 4：社内AIツール最適化

生成系AIツールで適用する
部分、独自AIツールを活用
する部分で業務効率化の
効果が創出できている

生成AIツール導入だけではなく、組織に広げるための仕組みづくり、業務特性を踏まえた適用の考え方を研修と伴走で整備し、一過性にとどまらないAI導入を支援します。



DAY1ターゲット：生成AIによる業務効率化事例を把握し、組織内で適切な助言とツール活用・プロンプト指導・方法を教えられる。

DAY2ターゲット：生成AI導入時の課題を把握し、解決策を立案・実践して現場での活用を促進できる。

DAY3ターゲット：生成AIによる業務候補の抽出から効率化方法の立案・進め方の明確化まで行える。

- 研修後の受講者の状態
1. 生成AIを用いた業務効率化事例を複数把握できている

2. 所属組織内で事例を念頭に適切なアドバイスができる

3. 業務を効率化するツール利用方法やプロンプト入力方法を教えられる

時間帯	セッション	内容
セッション①	オープニング	研修の趣旨説明、ゴール共有
	生成AIを用いた作業効率化事例	AIを用いて具体的にどのような作業の迅速化や品質アップが可能か知る
	【個人ワーク】興味ある効率化事例の選択	自身が興味のある作業に注目する
休憩（10分）		—
セッション②	【グループワーク：カフェ】生成AIを用いた効率化方法検討（興味のある業務ごとに分かれて検討）	メンバー同士で作業場面を出し合ってそれぞれでどのような活用方法が可能であるかディスカッションする
	【グループワーク】検討してきた内容をグループ内で共有（元のグループに戻って検討）	効率化する業務で活用するCopilot、入力するプロンプトを共有し、幅広い使い方を理解する
休憩（10分）		—
セッション③	業務効率化とAI適用の考え方	業務効率化ECRSフレームワークと生成AIを活用した具体的な手法を把握する
	【個人ワーク】自部署における生成AIの導入案を作成する	自部署で生成AIの適用が可能な業務を検討しリストアップする
	【グループワーク】生成AI導入案のディスカッション	各メンバーが考えた導入案を共有フィードバックを獲得し導入方法を具体化する
	【グループワーク】今日の研修の振り返りと気づき	研修で得た内容を振り返り活用方法を具体化する
	次回までの宿題	次回までの宿題ワークを説明

研修後の受講者の状態	1. 生成AIを現場で利用する際に発生する問題を把握できる	
	2. 現場導入を推進するための課題解決方法（プロンプトエンジニアリング）を立案することができる	
	3. 現場に戻り生じていた問題を解消しメンバーの生成AIツールの導入を後押しできる	
時間帯	セッション	内容
セッション①	オープニング	研修の趣旨説明、ゴール共有
	【グループワーク】 前回宿題の活動状況共有	取組状況を共有を通して相互の導入状況を理解し問題有無を確認する
	【グループワーク】 状況共有と発生問題を共有	ホワイトボードを用いて問題点を相互理解する
	休憩（10分）	—
セッション②	現象、あるべき姿、問題、課題の捉え方	発生事象から問題解消方法、課題解決手段を設定できるようにする
	【個人ワーク】 自分が抱えている問題整理と課題解決策立案	問題解消フレームを用いて課題解決方法を具体化する
	【グループワーク：カフェ】 課題解決ディスカッション （類似する問題でグループを作りグループに分かれてディスカッション）	検討した問題解決方法を共有、それぞれの問題に対して、様々な切り口で解決方法（生成AIの使い方、プロンプト、対象業務）をアドバイスしあう。
	休憩（10分）	—
セッション③	【グループワーク】 解決施策の共有	元のグループに戻り解決方法を共有し幅広い解決策を習得する
	目的、手段の切り分け	施策が目的にならないように具体歴を示しながら確実に推進できるようにする
	休憩（5分）	—
セッション④	【個人ワーク】 問題解消シートの作成	現場で発生している問題を解消するためのシートを作成する
	【グループワーク】 問題解消シートのディスカッション	各メンバーの検討内容を共有、フィードバックにより確実に推進できる計画を策定
	【グループワーク】 今日の研修の振り返りと気づき	研修で得た内容を振り返り活用方法を具体化する
	次回までの宿題（自部署で効率化する業務案の選択）	次回までの宿題ワークを説明

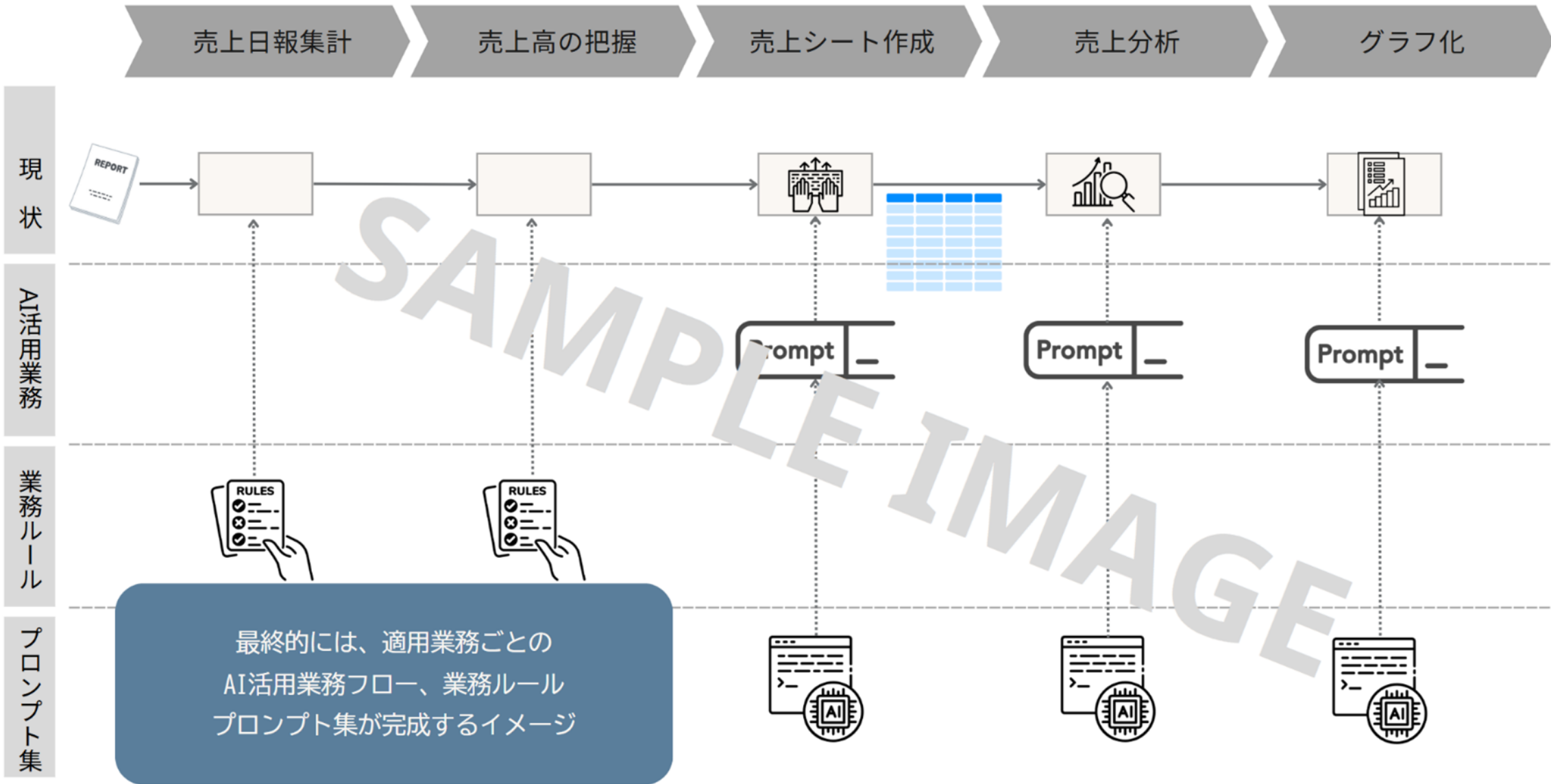
- 研修後の受講者の状態
1. 生成AIを用いて推進する業務候補を抽出できる

2. 各業務の効率化方法を立案できる

3. 生成AIを用いた業務効率化の進め方を明確化できる

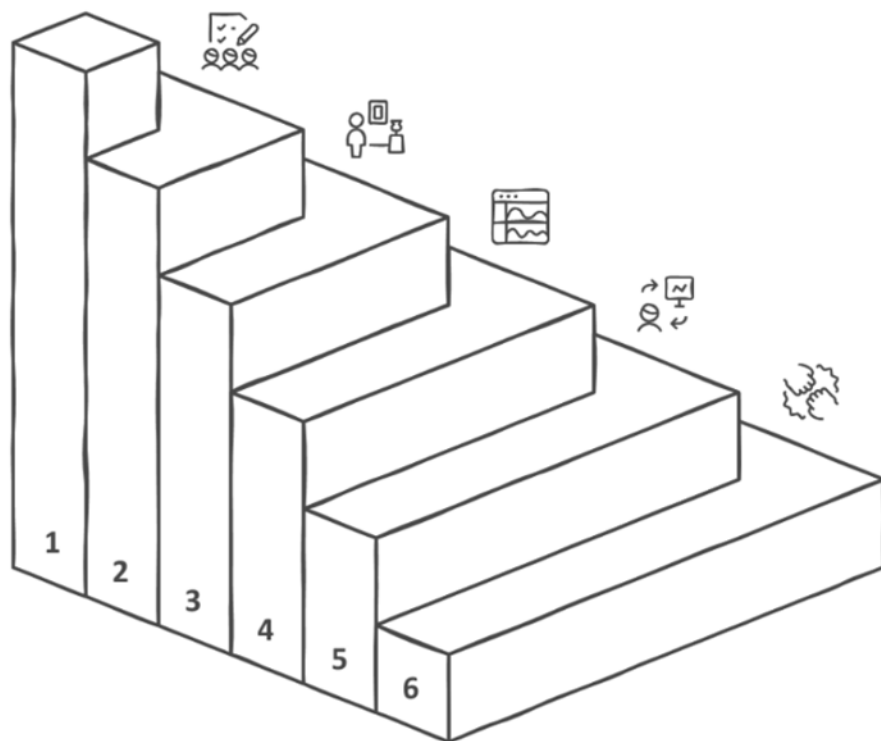
時間帯	セッション	内容
セッション①	オープニング	研修の趣旨説明、ゴール共有
	【グループワーク】生成AI適用業務ディスカッション	事前宿題をグループで共有しAI化を進めたい一連業務をディスカッション
	業務フローのAs-Is/To-Be 業務ルールの記載方法	AI化後の業務フロー作成方法を学習する（フロー、利用ツール、ルール）
休憩（10分）		—
セッション②	【個人ワーク】 To-Be業務フローの作成	自部署で生成AIを用いた業務フローを作成する
	【グループワーク：カフェ方式】 To-Be業務フローのディスカッション	取り組むテーマが類似しているメンバーが集まり業務フローを共有、改善点、課題などをディスカッションする
休憩（10分）		—
セッション③	【グループワーク】 ディスカッション内容の共有	フローへの指摘、課題点などを共有し解決策を検討
	【個人ワーク】 業務フローAI化ロードマップ作製	ざっくりした進め方を作成する
休憩（5分）		—
セッション④	今後のお客様におけるAI化の方向性とステップ	現場、組織としてどのような形でAI活用による効率化を実現するか説明
	【グループワーク】 自分たちが組織のAI化でどのように寄与するか	AI化を推進するにあたり自身が行うべきことをディスカッション
	【グループワーク】 3回の研修を踏まえ振り返り	学んだこと、気づいたこと、今後すべきことを話し合う
	まとめと講師一言	今後の推進にあたってのアドバイス

売上報告書の作成業務



研修で学んだ知識、演習で習得したスキルは現場で継続的に利用することが大事

研修から定着化を一貫サポート



1. 研修参加

研修に参加し知識とスキルを習得する

2. 演習実践

演習でスキルを実践し理解を深める

3. 定期訪問

定期訪問し、知識・スキルの活用状況を確認

4. 浸透状況の確認

現状、問題、課題を整理して推進策を設定

5. 推進支援

定着化を支援するとともに、新たなリーダー創出

生成AIの可能性を理解し、社内に浸透させる土台をつくる。生成AI導入を研修を通して具体的な業務課題に対してAIの有効性を検証。

生成AI&自社AI導入定着化 ロードマップ

特定業務にフォーカスしたPoCによる迅速化で実現を前倒しすることが可能です



STEP1：試行と啓蒙

生成AIの可能性を理解し、社内に浸透させる土台をつくる
生成AI導入を研修を通して具体的な業務課題に対してAIの有効性を検証



STEP 2：業務へのAI導入

研修期間で導入を決定した業務に対して生成AIツール活用を開始します。現場で複数箇所での生成系AIツールを用いた効率化の効果が創出できています。



STEP 3：社内AIモデル開発

生成系AIツールでは対応できない社内業務に対し、独自AIツールの開発を検討し、具体的なツールイメージを設定します。MVP構築のPoCを通じて、約2カ月で実装に取り組みます。



STEP 4：社内AIツール最適化

生成系AIツールで適用する部分、独自AIツールを活用する部分で業務効率化の効果が創出できている

現在の計画ではSTEP2/STEP3を数年の計画で推進する形になっておりますが
すでに実績あるAI構築に実績あるベンチャー企業を活用することで迅速化を図ることが可能です



- **生成AIツールを現場へ浸透させていく導入は研修踏まえて推進することが可能**

一方で生成AIツール以外の独自AIを組織導入するコストは数億円～
数十億円と言われています



- **個別AIを導入できるのか？**
- **大手に依頼すると高額になり時間もかかる**
- **こちらの要望に迅速にこたえてくれるところはあるのか？**

AI構築実績、経営、事業、業務を理解。さらにMVPを通して
製品化と課題把握を迅速にアジャイルで導入できるサービスの提供が可能です

Thanks !

【ご提案書】 生成 A I 現場定着化研修